



アーカイブ配信

北山修先生特別講演会

「むなしさ」の味わい方

～日本文化と臨床の間～

9/20(金)～12/25(水)

いま「むなしさ」が蔓延しているが、人は「むなしさ」の話をやがるので、臨床家としてはこれを話せるようになりたいだろう。「むなしさ」は代表的な語源説では身や実がない「みなし」で、かなりの心痛を指すわけで、多くの心に「身なし子」がいるのだろうか。それと、生き甲斐、やり甲斐がない、手応えがない、結果が出ない場合は、実を結ばないのでむなしさののだろうか。ため息をつくとき幸せが逃げると言うが、本当だろうか。答えは、日本文化の中にあると思う。

動画時間 約2時間半

料金 こだち正会員・賛助会員2,000円 / 学生会員1,200円 / 非会員3,500円
※別途手数料がかかります。

対象 臨床心理士・公認心理師・医師、これらを学ぶ学生

申込期間 2024年9月20日～2024年12月24日

申込方法 右のQRコードよりご確認の上、お申し込みください



講師略歴

北山修 先生 (九州大学名誉教授、白鷗大学学長)

【略歴】

京都府立医科大学医学部卒業(医学博士)

精神科医、臨床心理士。

東京に北山医院(現南青山心理相談室)を開設し、精神分析家として活動。

九州大学教育学部教授、白鷗大学学長などを歴任。

2024年1月には著書「むなしさの味わい方」(岩波新書 新赤版 2002)を出版。

またミュージシャンとしてはバンド「ザ・フォーク・クルセダーズ」のメンバーとして活動し、

作詞家として「戦争を知らない子供たち」をはじめとする数々の名曲を生み出した。

お問合せ

特定非営利活動法人
九州大学
ころとそだちの相談室

〒814-0002

福岡市早良区西新2-16-23

九州大学西新プラザ内 産学交流棟

メール: jimukyoku@codachi.org

お電話: 092-832-1345